○全研究業績一覧

全　研　究　業　績　一　覧

氏　名　　　　　　　　　　　　　　（記名可）　　　　　　　　　年　　月　　日現在

R1：査読付学術論文（学会誌等）

R2：著書

R3：査読付国際会議論文

R4：査読無学術論文（依頼論文）

R5：査読付学術論文（紀要）

R6：その他

その他

[外部資金獲得状況] （代表のみ）

以下別紙とすること（片面印刷）

その他（以下の項目は例示）

【査読無国際会議論文】

【査読無学術論文（紀要）】

【報告書】

　[学会報告]（報告集、開催案内等で確認できるもの）

　[翻訳]

　[資料紹介]

※ただし上記項目のうち、著書、学術論文と同等に扱えるものがある場合には、前ページのその他に記載すること

○全研究業績一覧

**記入例**

【研究業績に重点を置いた評価】

全　研　究　業　績　一　覧

氏　名　　　○○　○○　　（記名可）　　　　　（西暦）○○○○年○○月○○日現在

　　【記入上の注意】

・項目毎に最近のものから順に番号を付し、「研究業績目録」に記載したものは、当該業績の先頭に○印を記入すること。また、「研究業績目録」に「博士論文」を記載した場合には、最初に記入すること。

（記載例）１．博士論文

○「○○に関する研究」（○○大学○○研究科）、2008年、200頁。

* 全研究業績一覧の作成にあたっては本記入例に従うことが望ましいが、研究業績に含まれる項目及び各業績の著者、頁数（○○頁、○○～○○頁）、発行所、発表誌、発表年（月）等が判別できれば、必ずしも本記入例に厳密に従わず、任意の様式を使用しても良い。
* 氏名の体裁は掲載誌に準ずることが望ましいが、各候補者がデータベース等で研究業績を一律に管理している場合、全研究業績一覧の作成のために、氏名の体裁を掲載誌に合わせて修正する必要はない。
* 本人の氏名に下線を施すこと。

R1：査読付学術論文（学会誌等）

○1）筑波花子「○○の考察」『○○論文集』12巻3号、 [印刷中]。

【印刷中のものは証明書を添付すること】

○2）Tsukuba Hanako, Taro Ibaraki, “Japan and China, 1900-1910”, *Journal of Asian Studies*, Vol. 2, No. 4, pp. 30-41, April 2013.

R2：著書

○1）筑波花子、茨城太郎『○○に関する研究』○○出版社、2014年、330頁。

○2）筑波花子「○○に関する研究」（○○○研究会編『○○の分析』○○大学出版部、○○頁）○○～○○頁、2013年。分担著。審査付。

R3：査読付国際会議論文

○1）Tsukuba Hanako, “On the Disclosure of Diplomatic Records”, *Proceeding of 17th International Congress of East Asian History*, Macao, Aril 2012, 14 pag【PDF版】

R4：査読無学術論文（依頼論文）

1）筑波花子「○○○に関する研究」『○○○○ジャーナル』○○号、○○～○○頁、2013年3月。

R5：査読付学術論文（紀要）

1）筑波花子、筑波太郎「○○について」、○○大学文学部『○○紀要』24集、120～130頁、2015年10月。

その他

[外部資金獲得状況] （代表のみ）

　1）科学研究費補助金（基盤研究（C））、研究課題「○○の総合的研究」、2011年度○○万円 2012年度○○万円 2013年度○○万円。

以下別紙とすること（片面印刷）

その他（以下の項目は例示）

【査読無国際会議論文】

【査読無学術論文（紀要）】

1）「○○の考察」、『○○紀要』12巻3号、21～33頁、2014年3月。

2）筑波花子、筑波太郎「○○関する考察」、○○大学文学部『○○紀要』16集、120～145頁、2013年10月。

【報告書】

【学会報告】（報告集、開催案内等で確認できるもの）

　 1）「○○について」（○○学会第3回年次大会報告）、2014年3月、○○大学。

【翻訳】

【資料紹介】